

「事業名：福島・学びの場形成事業」

早稲田大学 連携市町村：福島県双葉郡広野町、福島県双葉郡富岡町  
 現地拠点：福島県双葉郡広野町下北迫苗代替22-2 文化交流施設ひろの未来館

全体

事業のポイント

多様な「学びの場」の形成により、復興知人材と廃炉知人材を育成し、持続可能な福島県浜通り地域の形成を構想

1. 「学びの場」の形成：フォーマルとインフォーマルの融合

「まちづくり」と「学びの場づくり」の共進化には、ふたば未来学園やF-REI等のフォーマルな学びの場だけでなく、「ふくしま学（楽）会」「福島再生塾」等のインフォーマルな対話の場の両方が不可欠である

2. 学びの内容：「復興知」「廃炉知」の学びを「総合知」へ

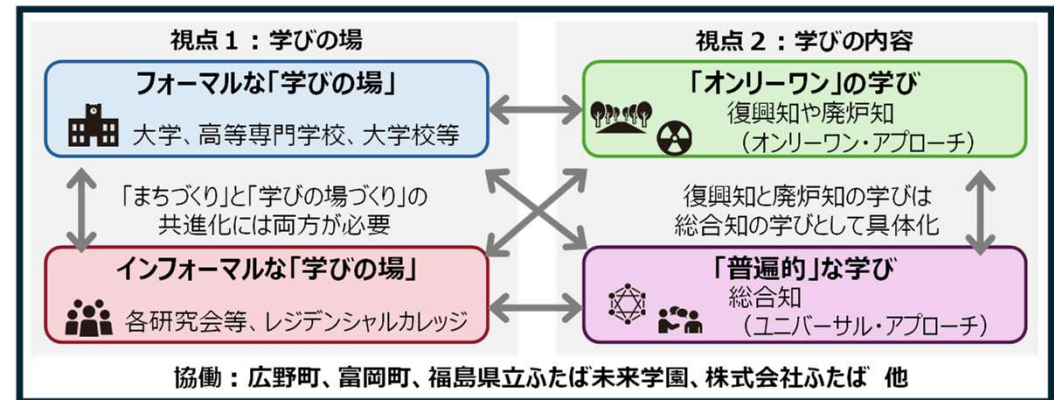
「復興知」と「廃炉知」の学びを総合知として具現化するため、福島特有の「オンリーワン・アプローチ」と、普遍的な「ユニバーサル・アプローチ」を組み合わせる

人材育成・定着計画及び目標

- ①多様な「学びの場」の形成による次世代の人材の育成  
→中高生から大学生を対象
- ②地域住民との共創による地域人材の育成  
→地域住民・企業・自治体などを対象
- ③地域外の学生・社会人の福島からの学びの醸成  
→地域外の学生・社会人を対象

福島復興

(視点1) 学びの場：フォーマルな「学びの場」だけでなく、インフォーマルな「学びの場」も重要  
 (視点2) 学びの内容：「オンリーワン・アプローチ」と「ユニバーサル・アプローチ」が必要



2026年度の活動内容

- ・研究者中心の研究会（調査・検討）
- ・地域対話（参加者限定・クローズド）
- ・実証実践（パイロットモデル構築）
- ・シンポジウム（オープンエンドな対話の場）
- ・人材育成（高校生への直接指導）

取組によって得られる成果

- ・復興知人群・廃炉知人材育成
- ・持続可能な福島県浜通り地域の形成
- ・日本社会・世界への創造的復興モデル提示